

美味しい「あきたこまち」コンテスト 「ザ・プレミアムファイブ」に伊藤穰さん

12月7日(水)、「秋田米フォーラム2022」が秋田キャッスルホテルで開かれました。大手百貨店からの秋田米の評価や味覚の認識基準などの講演が行われ、県内の生産者やJA関係者が今年産米の生育を振り返りながら、秋田米ブランドのさらなる発展を目指しました。

令和4年産「美味しいあきたこまちコンテスト」の結果発表も行われ、全県からの出品のうち、当JA管内からは秋田市雄和の伊藤穰さんが優秀賞(秋田県農業協同組合中央会会長賞)に輝きました。伊藤さんは同コンテストで3回入賞を果たしており、良食味米の安定生産の功績が称えられ、特別賞(全農秋田県本部県本部長賞)も贈られました。



1



2



3

「ザ・プレミアムファイブ」販売中!

伊藤さんをはじめ、厳正な審査を経て入賞した上位5名の「あきたこまち」です。グランマート、コープあきた、ナイス、西武秋田店ほか県内外の量販店でお買い求めいただけます(数量限定)。

1 コンテストに入賞した生産者(前列が上位5名)

2 表彰を受ける伊藤さん

3 「ザ・プレミアムファイブ」に輝いた喜びを語る伊藤さん

NEWS & TOPICS

廃棄プラスチック類・農薬を回収

当JAでは使用後に不要になったプラスチック製の生産資材や使用期限が切れた農薬などを適切に処理するため、生産者から定期的に回収しています。11月14日(月)から18日(金)には、秋田市内の農業倉庫やグリーンセンターなど5か所まで回収を受け付けました。生産者が軽トラックなどで使用済みのマルチシートや育苗箱、肥料袋などを持ち込み、営農経済部の職員や回収業者が内容を確認しながら重量を計りました。プラスチック類や農薬などの廃棄物を正しく処分することで、環境保全やSDGsの達成に繋がります。今後も適切に取り扱い、環境負荷が少ない農業に取り組みしましょう。



廃棄プラスチック類を軽トラから降ろして計量する職員

男鹿地区営農フェア

11月24日(金)から26日(土)にかけて、男鹿地区営農フェアが男鹿地区営農センターで開催されました。生産者が令和5年産用の肥料や農薬、生産資材などを予約に訪れ、「今年はこの雑草が多かった」「この農薬と併用できるものは何か」などと職員に相談しました。職員は適切な施用量を計算したり、栽培暦を使って説明したりしながら、前年度比125.2%の3億2589万円の注文を受け付けました。玄米の品種や等級を当てるコーナーや、金融共済の相談ブースなどのほか、弘戸農機センターでは農機具の安全講習会も行われ、3日間で延べ661名が訪れました。



資材を予約注文する生産者にぎわう会場

